



Title	利用規程等 サイバーメディアHPCジャーナル No.16
Author(s)	
Citation	サイバーメディアHPCジャーナル. 2026, 16, p. 203-212
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/106261
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

利用規程等

・ 規程関係

大阪大学 D3 センター大規模計算機システム利用規程

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪大学 D3 センター(以下「センター」という。)が管理及び運用する全国共同利用のスーパーコンピュータシステム及びワークステーションシステム(以下「大規模計算機システム」という。)の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用目的)

第2条 大規模計算機システムは、学術研究、教育等のために利用することができるものとする。

(利用者の資格)

第3条 大規模計算機システムを利用することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学、短期大学、高等専門学校又は大学共同利用機関の教員(非常勤講師を含む。)及びこれに準ずる者
 - (2) 大学院の学生及びこれに準ずる者
 - (3) 学術研究及び学術振興を目的とする国又は地方公共団体が所轄する機関に所属し、専ら研究に従事する者
 - (4) 学術研究及び学術振興を目的とする機関(前号に該当する機関を除く。)で、センター長が認めた機関に所属し、専ら研究に従事する者
 - (5) 科学研究費補助金の交付を受けて学術研究を行う者
 - (6) 第1号、第3号又は第4号の者が所属する機関との共同研究に参画している民間企業等に所属し、専ら研究に従事する者
 - (7) 日本国内に法人格を有する民間企業等に所属する者(前号に該当する者を除く。)で、別に定める審査に基づきセンター長が認めた者
 - (8) 前各号のほか、特にセンター長が適当と認めた者
- (利用の申請)

第4条 大規模計算機システムを利用しようとする者は、所定の申請を行い、センター長の承認を受けなければならない。ただし、前条第6条の者は、この限りでない。

- 2 前項の申請は、大規模計算機システム利用の成果が公開できるものでなければならない。

(利用の承認)

第5条 センター長は、前条第1項による申請を受理し、適当と認めたときは、これを承認し、利用者番号を与えるものとする。

- 2 前項の利用者番号の有効期間は、1年以内とする。ただし、当該会計年度を超えることはできない。

(利用内容の変更)

第6条 大規模計算機システムの利用につき承認された者(以下「利用者」という。)は、申請書の記載内容に変更を生じた場合は、速やかに所定の手続きを行わなければならない。

(利用者番号の不正使用禁止)

第7条 利用者は、第5条第1項に規定する利用者番号

を当該申請に係る目的以外に使用し、又は他人に使用させてはならない。

(報告書の提出)

第8条 利用者は、当該申請に係る利用を終了又は中止したときは、速やかにその旨をセンター長に届け出るとともに、その利用の結果又は経過を所定の報告書によりセンター長に報告しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、センター長が必要と認めた場合は、報告書の提出を求めることができる。

- 3 提出された報告書は、原則として公開とし、センターの広報等の用に供することができるものとする。ただし、利用者があらかじめ申し出たときは、3年を超えない範囲で公開の延期を認めることがある。

(成果の公表)

第9条 利用者は、研究の成果を論文等により公表するときは、当該論文等到大規模計算機システムを利用した旨を明記しなければならない。

(経費負担)

第10条 利用者は、当該利用に係る経費の一部を負担しなければならない。

(負担額)

第11条 前条の利用経費の負担額は、国立大学法人大阪大学諸料金規則に定めるとおりとする。

(経費負担の免除)

第12条 前条の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合については、利用経費の負担を要しない。

- (1) センターの責に帰すべき誤計算があったとき。
- (2) センターが必要とする研究開発等のため、センター長が特に承認したとき。

(経費負担の方法)

第13条 利用経費の負担は、次の各号に掲げる方法によるものとする。

- (1) 学内経費(科学研究費補助金を除く。)の場合にあつては、当該予算の振替による。
- (2) 前号以外の場合にあつては、本学が発する請求書の指定する銀行口座への振込による。

(免責)

第14条 センターは、利用者が大規模計算機システムを利用したことにより被った損害その他の大規模計算機システムに関連して被った損害について、一切の責任及び負担を負わない。

(利用の制限)

第15条 センターは、大規模計算機システムの障害その他やむを得ない事情があるときは、利用者への予告なしに大規模計算機システムを停止することができる。

(利用承認の取消)

第16条 センター長は、この規程又はこの規程に基づく定めに違反した者その他大規模計算機システムの運営に重大な支障を生じさせた者がいるときは、利用の承認を取り消し、又は一定期間大規模計算機システムの利用を停止させることがある。

(雑則)

第17条 この規程に定めるもののほか、大規模計算機システムの利用に関し必要な事項は、センター長が定める。

附 則

- 1 この規程は、令和6年10月1日から施行する。
- 2 大阪大学サイバーメディアセンター大規模計算機システム利用規程(平成12年3月13日制定)は、廃止する。
- 3 この規程施行前に大阪大学サイバーメディアセンター大規模計算機システム利用規程に基づき、令和6年度の利用承認を受けた利用者にあつては、この規程に基づき利用の登録があつたものとみなす。

別表第17

大阪大学D3センター大規模計算機システム利用規程第11条の規定に基づく負担額

(1) SQUIDの負担額

(A) 占有

基本負担額	占有ノード数
1,150,000 円／年	汎用CPUノード群 1ノード
7,032,000 円／年	GPUノード群 1ノード
4,336,000 円／年	ベクトルノード群 1ノード

(B) 共有

コース	基本負担額	SQUIDポイント
	10万円	1,000 ポイント
	50万円	5,250 ポイント
	100万円	11,000 ポイント
	300万円	34,500 ポイント
	500万円	60,000 ポイント

(C) ストレージ容量追加

基本負担額	提供単位
2,000円／年	HDD 1TB
5,000円／年	SSD 1TB

備考

- 負担額は上記負担額で算出した合計額に、消費税（10％）を加えて得た額とする。
ただし、産業利用 成果非公開型の負担額は、上記負担額で算出した合計額に5を乗じ、消費税（10％）を加えて得た額とする。
- 登録時の利用期限または年度を越えて利用はできない。
- ストレージ容量は1申請単位でHDD 5TBを割り当てる。ただし、他のストレージ容量と合算できない。
- (A) は占有ノード数を追加する場合のみ変更申請を受け付ける。
- (A) の2ノード以上の基本負担額は、1ノードを基準に比例するものとする。
- (A) は資源提供状況により3か月単位の申請を受け付ける場合がある。
その場合の月額負担額は、1ノード年の基本負担額の1/10とする。
- (B) は年度の途中でコースの変更はできない。新たにコースを追加する場合は申請を受け付ける。
- 計算ノードの利用に使用するSQUIDポイントは、使用したノード時間に対して以下の消費係数、季節係数および燃料係数を乗じたものとする。季節係数は前年の利用状況等を鑑み、0を超える1以下の値を設定する。燃料係数は、直近の電気料金を鑑み、設定する。

ノード群	消費係数			季節係数	燃料係数
	高優先度	通常優先度	シェア		
汎用CPUノード群	0.3746	0.2998	0.2248	大規模計算機システム WEBページに記載	大規模計算機システム WEBページに記載
GPUノード群	2.2934	1.8348	1.3762		
ベクトルノード群	1.4140	1.1312	0.8484		

- (C) は年度の途中は追加申請のみ受け付ける。
- (C) は1つの申請グループにつき、HDD 500TB、SSD 10TBの追加を上限とする。

(2) OCTOPUSの負担額

(A) 占有

基本負担額	占有ノード数
1,907,000円／年	汎用CPUノード群 1ノード

(B) 共有

コース	基本負担額	OCTOPUSポイント
	10万円	1,000 ポイント
	50万円	5,250 ポイント
	100万円	11,000 ポイント
	300万円	34,500 ポイント
	500万円	60,000 ポイント

(C) ディスク容量追加

基本負担額	提供単位
2,000円／年	1TB

備考

- 負担額は上記負担額で算出した合計額に、消費税（10％）を加えて得た額とする。
ただし、産業利用 成果非公開型の負担額は、上記負担額で算出した合計額に5を乗じ、消費税（10％）を加えて得た額とする。
- 登録時の利用期限または年度を越えて利用はできない。
- ディスク容量は1申請単位で5TBを割り当てる。ただし、他のディスク容量と合算できない。
- (A) は占有ノード数を追加する場合のみ変更申請を受け付ける。
- (A) の2ノード以上の基本負担額は、1ノードを基準に比例するものとする。
- (A) は資源提供状況により10ノード以上3か月単位の申請を受け付ける場合がある。
その場合の月額負担額は、1ノード年の基本負担額の1/10とする。
- (B) は年度の途中でコースの変更はできない。新たにコースを追加する場合は申請を受け付ける。
- 計算ノードの利用に使用するOCTOPUSポイントは、使用したノード時間に対して以下の消費係数、季節係数および燃料係数を乗じたものとする。季節係数は前年の利用状況等を鑑み、0を超える1以下の値を設定する。燃料係数は、直近の電気料金を鑑み、設定する。

ノード群	消費係数				季節係数	燃料係数
	高優先度	通常優先度	シェア(1/2)	シェア(1/4)	大規模計算機システム WEBページに記載	大規模計算機システム WEBページに記載
汎用CPUノード群	0.6219	0.5287	0.3732	0.2488		

- (C) は年度の途中は追加申請のみ受け付ける。
- (C) は1つの申請グループにつき、50TBの追加を上限とする。

(3) ONION(オブジェクトストレージ)の負担額

基本負担額	提供単位
12,000 円／年	1TB

備考

- 年度の途中は追加申請のみ受け付ける。
- 負担額は上記負担額で算出した合計額に、消費税（10％）を加えて得た額とする。

大阪大学 D3 センター大規模計算機システム試用制度利用内規

第1条 この内規は、大阪大学D3 センター（以下「センター」という。）が管理運用する全国共同利用のスーパーコンピュータシステム及びワークステーション（以下「大規模計算機システム」という。）の試用制度を利用するための必要な事項を定める。

第2条 試用制度は、初めてセンターの大規模計算機システムを利用する者（以下「利用者」という。）に一定の期間利用させることによって、利用者の研究活動における大規模計算機システムの有用性を確認できるようにすることを目的とする。

第3条 試用制度を利用することができる者は、大阪大学D3 センター大規模計算機システム利用規程第3条に該当する者とする。

第4条 利用者は所定の申請手続きを行い、センター長の承認を得なければならない。

第5条 センター長は、前条の申請について適当と認めた場合は、利用者番号を与えて承認するものとする。

第6条 利用者の有効期間は初めて利用する計算機資源毎に3ヶ月間とする。ただし、当該会計年度を超えることはできないものとする。

2 利用有効期間内は別に定める資源量上限まで計算機資源毎に利用できるものとする。資源量上限を超えた場合は、利用を停止するものとする。

3 利用有効期間を超えた場合は、利用を停止するものとする。

第7条 利用者は、第5条に規定する利用者番号を当該申請に係る目的以外に使用し、又は他人に使用させてはならない。

第8条 センター長は、この内規に違反した場合、もしくは氏名等を偽り利用した場合、その他大規模計算機システムの運営に重大な支障を生ぜしめた場合には、当該利用の承認を取り消すことがある。

附 則

- 1 この内規は、令和6年10月1日から施行する。
- 2 大阪大学サイバーメディアセンター大規模計算機システム試用制度利用内規（平成12年11月30日制定）は、廃止する。
- 3 この内規施行前に大阪大学サイバーメディアセンター大規模計算機システム試用制度利用内規に基づき、令和6年度の利用承認を受けた利用者にとっては、この内規に基づき利用の登録があったものとみなす。

大規模計算機システム ホスト一覧

サーバ名	ホスト名
ログインサーバ (SQUID)	squidhpc.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp
ログインサーバ (OCTOPUS)	octopus.hpc.osaka-u.ac.jp

※スーパーコンピュータなどの演算システムへは、ログインサーバ経由での接続となります。
(ホスト一覧表には明記していません)

スーパーコンピュータ SQUID のジョブクラス一覧

汎用 CPU ノード群

利用方法	ジョブ クラス	利用可能 経過時間	利用可能 最大 Core 数	利用可能メモリ	同時利用 可能ノード数	備考
共有利用	SQUID	120 時間	38,912 Core (76Core×512 ノード)	124 TB (248GB×512 ノード)	512 ノード	
	SQUID-R	120 時間	38,912 Core (76Core×512 ノード)	124 TB (248GB×512 ノード)	512 ノード	※1
	SQUID-H	120 時間	38,912 Core (76Core×512 ノード)	124 TB (248GB×512 ノード)	512 ノード	※2
	SQUID-S	120 時間	38 Core (76Core×0.5 ノード)	124 GB (248GB×0.5 ノード)	0.5 ノード	※3
	DBG	10 分	152 Core (76Core×2 ノード)	496 GB (248GB×2 ノード)	2 ノード	
	INTC	10 分	152 Core (76Core×2 ノード)	496 GB (248GB×2 ノード)	2 ノード	
占有利用	mySQUID	無制限	76Core×占有ノード数	248GB×占有ノード数	占有ノード数	

※1. クラスタを跨ぐ（相互接続網の帯域が狭い経路の）割当を許容するキュー。実行待ち時間が短縮される場合がある。

※2. 高優先度のため実行待ち時間が短縮されるが、ポイントの消費が大きくなる。

※3. 他のジョブとの 1 ノード内での資源共有を許容するキュー。ポイント消費が小さくなるが、他のジョブの影響を受ける可能性がある。

GPU ノード群

利用方法	ジョブ クラス	利用可能 経過時間	利用可能 最大 Core 数	利用可能メモリ	同時利用 可能ノード数	備考
共有利用	SQUID	120 時間	2,432 Core (76Core×32 ノード)	15.75 TB (504GB×32 ノード)	32 ノード	
	SQUID-H	120 時間	2,432 Core (76Core×32 ノード)	15.75 TB (504GB×32 ノード)	32 ノード	※1
	SQUID-S	120 時間	38 Core (76Core×0.5 ノード)	252 GB (504GB×0.5 ノード)	0.5 ノード	※2
	DBG	10 分	152 Core (76Core×2 ノード)	1,008 GB (504GB×2 ノード)	2 ノード	
	INTG	10 分	152 Core (76Core×2 ノード)	1,008 GB (504GB×2 ノード)	2 ノード	
占有利用	mySQUID	無制限	76Core×占有ノード数	504GB×占有ノード数	占有ノード数	

※1. 高優先度のため実行待ち時間が短縮されるが、ポイントの消費が大きくなる。

※2. 他のジョブとの 1 ノード内での資源共有を許容するキュー。ポイント消費が小さくなるが、他のジョブの影響を受ける可能性がある。

ベクトルノード群

利用方法	ジョブ クラス	利用可能 経過時間	利用可能 最大 Core 数	利用可能メモリ	同時利用 可能 VE 数	備考
共有利用	SQUID	120 時間	2,560 Core (10Core×256VE)	12 TB (48GB×256VE)	256VE	
	SQUID-H	120 時間	2,560 Core (10Core×256VE)	12 TB (48GB×256VE)	256VE	※1
	SQUID-S	120 時間	40 Core (10Core×4VE)	192 GB (48GB×4VE)	4VE	※2
	DBG	10 分	40 Core (10Core×4VE)	192 GB (48GB×4VE)	4VE	
	INTV	10 分	40 Core (10Core×4VE)	192 GB (48GB×4VE)	4VE	
占有利用	mySQUID	無制限	10Core×占有 VE 数	48GB×占有 VE 数	占有 VE 数	

※1. 高優先度のため実行待ち時間が短縮されるが、ポイントの消費が大きくなる。

※2. 他のジョブとの 1 ノード内での資源共有を許容するキュー。ポイント消費が小さくなるが、他のジョブの影響を受ける可能性がある。

スーパーコンピュータ OCTOPUS のジョブクラス一覧

利用方法	ジョブ クラス	利用可能 経過時間	利用可能 最大 Core 数	利用可能 最大メモリ量	同時利用 可能ノード数	備考
共有利用	OCT	120 時間	32,768 Core (256 Core/ノード)	92.75 TiB (742 GiB/ノード)	128 ノード	
	OCT-H	120 時間	32,768 Core (256 Core/ノード)	92.75 TiB (742 GiB/ノード)	128 ノード	※1
	OCT-S	120 時間	128 Core	371 GiB	1 ノード	※2
	DBG	10 分	512 Core (256 Core/ノード)	1,484 GiB (742 GiB/ノード)	2 ノード	
	INT	10 分	512 Core (256 Core/ノード)	1,484 GiB (742 GiB/ノード)	2 ノード	
	VA	120 時間	256 Core	742 GiB	1 ノード	
	DPS	120 時間	32,768 Core (256 Core/ノード)	92.5 TiB (740 GiB/ノード)	128 ノード	※3
占有利用	myOCT	無制限	256 Core× 占有ノード数	742 GiB× 占有ノード数	占有ノード数	

※1. 高優先度キューに投入されたジョブは、システムが混雑して実行待ちが発生している場合に、次に実行するジョブとして優先的に選択されやすくなり、待ち時間の短縮が期待できます。実行予定が確定したジョブ(qstat コマンドで実行予定時刻が表示されるジョブ)を入れ替えるものではありません。なお、高優先度キューは通常キューに比べて消費係数が高く設定されており、実行時のポイント消費量は通常キューより多くなります。詳細はこちらをご参照ください。

※2. 他のジョブとの1ノード内での資源共有を許容するキュー。以下のとおり、計算規模に応じてポイント消費が小さくなるが、他のジョブの影響を受ける可能性がある。

128 core 以下 かつ メモリ 371 GB 以下のジョブ → シェア(1/2)の消費係数を適用

64 core 以下 かつ メモリ 185 GB 以下のジョブ → シェア(1/4)の消費係数を適用

※3. DPS4H によって来歴採取を行うキュー。メモリ量以外の制限や優先度は OCT キューと同様。

2025 年度大規模計算機システム稼働状況

稼働状況

(単位:時間)

事 項		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
稼働時間	計算サービス時間 (A1)		467:00	744:00	720:00	744:00	744:00	720:00	744:00	720:00	744:00	647:00	672:00	737:00	8403:00	700:15
	初期化・後処理時間 (A2)		0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	業 務 時 間 (A3)		0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	(A) 小 計		467:00	744:00	720:00	744:00	744:00	720:00	744:00	720:00	744:00	647:00	672:00	737:00	8403:00	700:15
保 守 時 間 (B)			253:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	97:00	0:00	7:00	357:00	29:45
故 障 時 間 (C)			0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
その他の時間 (D)			0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
運転時間 (A+B+C+D)			720:00	744:00	720:00	744:00	744:00	720:00	744:00	720:00	744:00	744:00	672:00	744:00	8760:00	730:00
稼働率 (A/(A+B+C+D)%)			64.86	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	86.96	100.00	99.06	— — —	95.91
運 転 日 数 (E)			30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30
一日平均稼働時間 (A/E)			15:34	24:00	24:00	24:00	24:00	24:00	24:00	24:00	24:00	20:52	24:00	23:46	— — —	23:01

処理状況

処理月	SQUID				OCTOPUS		
	共有利用		占有利用 CPU時間(時)	利用率(%)	共有利用		利用率(%)
	ジョブ件数	CPU時間(時)			ジョブ件数	CPU時間(時)	
4月	42,189	372,475	6,702	88.2%			
5月	407,479	766,656	10,416	93.1%			
6月	919,393	907,894	10,778	94.8%			
7月	143,768	957,113	11,160	92.7%			
8月	155,115	871,447	11,078	94.1%			
9月	257,812	929,025	10,800	93.8%	3,694	52,882	71.2%
10月	640,946	977,666	14,880	81.5%	10,127	87,310	84.7%
11月	372,195	977,606	14,400	94.4%	52,275	65,149	93.7%
12月	172,101	1,028,245	14,880	94.2%	510	8,763	29.2%
1月	121,191	859,326	18,763	92.1%	1,111	15,245	57.0%
2月	144,272	887,797	19,488	93.6%	970	6,492	87.4%
3月	166,629	1,017,172	20,636	93.0%	10,577	4,938	64.7%
合計	3,543,090	10,552,422	163,981		79,264	240,779	

(注) 利用率は、次の計算式により算出している。
利用率 = (ノード時間積／稼働中ノードの合計サービス時間) * 100

